

| | | | | | | | | |
|--|------|--|--|--|--|--|--|--|
| 昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 2024年度 外国人留学生 一般入学試験 | 氏名 | | | | | | | |
| 「小論文」 問題用紙 (1/1) | 受験番号 | | | | | | | |

日本における急速な高齢化は、医療や福祉の分野にも大きな影響をもたらしており、その中でも認知症に関する社会的課題は様々である。厚生労働省の資料によると、65歳以上の4人に1人が認知症または軽度認知障害を発症しており、今後さらに増加することが予想されている。

認知症とは、脳血管障害や加齢により一旦発達した知的機能全般がうまく機能しなくなる状態であり、主な症状は記憶や判断といった高次の認知機能の低下である。このため、本人が必要な医療・福祉のサービスを受ける際の意思形成にも支障をきたす場合が考えられる。何らかの医療・福祉的介入を要する認知症の人が、適切にサービスを受けるためにはどのような支援が必要だろうか。「認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会をめざす」という視点からあなたの考えを具体的に述べなさい。

(750字以上800字以内)

※出典：認知症施策推進大綱（厚生労働省：2019年）

| | | |
|--|------|----|
| 昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 2024年度 外国人留学生 一般入学試験 | 氏名 | |
| 「小論文」 解答用紙 (1/1) | 受験番号 | 採点 |